

取組名称：繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成
取組大学：信州大学（代表校）、福井大学、京都工芸繊維大学

大学院に「繊維・ファイバー工学分野」の専攻を有する高等教育研究機関(信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学)が教育研究資源を連携・融合し、各大学の強みを活かし、弱い機能を補完する形で我が国における繊維系大学院連合の構築を目指す。各大学院の修士課程に「繊維・ファイバー工学連携コース」(仮称)を開設し、平成25年度より各大学5名、計15名を定員とする。繊維系大学院連合と産業関連団体、繊維系資格関係団体、繊維系関係学会とが連携して、アカデミックインターンシップ、海外大学教員による授業を開講し、同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成することを目的とする。

■ 取組の背景とポイント

- 「繊維・ファイバー工学分野」の産業的な裾野は広がっており、衣料分野だけでなく、広範囲な産業分野に及び、日本の産業基盤を支えている。
- 繊維技術士となる若い技術者を育成する必要性をステークホルダーが強く感じている。
- 繊維の基礎的知識から応用知識までを必要とする人材が潜在的に多数いる。
- グローバルに活躍できる人材だけでなく、後進の教育・指導が行える人材を育成し、継続的な人材供給を可能なシステムを構築

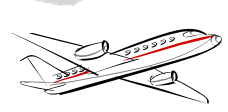


■ 実施体制・評価体制

- コース事務局(代表校)、支部(連携校)
- 運営委員会・・・PDCA評価(研究科長等)
- 企画実施委員会・教育プログラムの策定、実施
- 修了認定委員会・・・ステークホルダーを含めた修了認定体制
- 外部評価委員会・・・カリキュラムの討議、中間評価、最終評価



- 学生教員の相互乗り入れによる幅広いカリキュラム
- 国内外の大学・研究機関からエキスパートを招聘し、講義及び学生指導
- 日本繊維技術士センター、繊維関連企業から技術者を招聘し、実学の講義及び学生指導
- アカデミックインターンシップ、企業インターンシップ、繊維系合同合宿(合宿研修)
- 多角的な研究テーマに基づく学生の共同指導
- 産業界の要請に応える「共同の教育・質保証システム」を構築



ステークホルダー
 一般社団法人繊維学会、社団法人繊維機械学会、社団法人日本繊維製品消費科学会
 一般社団法人日本繊維技術士センター、一般社団法人日本衣料管理協会、日本繊維産業連盟

